

きらやか銀行

ミニディスクロージャー誌 2012
平成24年3月期



KIRAYAKA BANK '12
MINI DISCLOSURE

「お客様に喜ばれ、信頼され、『じもと』とともに
進化・発展する新たな金融グループの創設」

それが基本理念です。



みやぎとやまがたをつなぐ

当行と仙台銀行は平成24年10月1日に
共同持株会社【じもとホールディングス】を設立し

経営統合いたします。

両行の営業ネットワーク及び

行員の有するノウハウの融合と

相乗効果やスケールメリットの享受による

経営機能の効率化

実現により、県境を超えて進化する

地域経済活動への貢献と

顧客サービスの向上を実現してまいります。



“こころが根づく、じもとホールディングス。”

名称について

『じもと』は、地元を意味し、地域に根ざして展開していく新金融グループの経営姿勢を表したネーミングです。新金融グループとして、地元の経済、お客様をしっかりと支えていくことで、地元の未来を創造していきたいとの思いを込めております。

シンボルマークについて

「東北を象徴する『緑の山』。そして、その地元の山々に『こころ(ハート)』を根づかせている。」そんな思いで作成したマークです。仙台銀行(緑色)ときらやか銀行(赤色)がしっかりと手を取り合っています。マークを連続させることで、山やハートが広がり続けるようなイメージを生み出せます。



経営統合の発表(共同会見)



山形市内で行われた復興イベントでの様子



お客さまから、もっともっと よろこばれる銀行へ

株式会社きらやか銀行
代表取締役頭取 粟野 学

きらやか銀行が目指すものは何ですか？

「きらやからしさ」

今年度から、新たな中期経営計画がスタートします。その基本となる考えとして、これからの3年間で、『**きらやからしさ**』を追求していきたいと考えています。「きらやからしさ」とは何だろうと考えた時、真っ先に頭に浮かぶのは、今全行をあげて取り組んでいる『**本業支援・最適提案**』です。これらの延長線上にあるのが、正に「きらやからしさ」なのだと考えています。言葉で表すと、『**もっともっと喜ばれる銀行になる**』。これが「きらやからしさ」です。

「もっともっと、よろこばれる銀行へ」

もっともっと喜ばれる銀行になる。この「きらやからしさ」を実現するために、中期経営計画において大きな方針を決めていきたいと思っています。中期経営計画のストーリーのスタート地点は、『**本業支援・最適提案**

案』です。取引拡大により、収益力が向上すると経営基盤が強化されます。そうすると株主の皆さまが喜ぶ、地域社会が喜ぶ、行員が喜ぶ。皆さまとそして行員が喜んだ力で、更にサービス向上の充実を図り、より進化した「**本業支援・最適提案**」の地点へと戻っていく…。このようなストーリーを描いていきたいと思っています。

もう一つは本業支援による「コミュニケーションの活性化」です。そして内部管理態勢強化にもつながる、『**ルールを守る**』ということ。これらが更なる収益力の強化につながります。そして更には、本年10月に控えている「**仙台銀行との経営統合**」。この統合により、新たな市場開拓につながります。**新たな市場の開拓は、お客さまの喜び、そして地域経済の活性化に結び付きます。**

経営統合後の戦略をお聞かせください。

「つなぐ」

10月に経営統合する仙台銀行との戦略は、『**つなぐ**』がキーワードだと思っています。法人のお客さまには**本業支援をベースに情報をつなぐ、商流をつなぐ**。個人のお客さまには**両県に跨るものをつないで商品**

を創る、ネットワークをつなぐ、チャネルをつなぐ。仙台銀行との経営統合後は、他行とは違うサービスを「**つなぐ**」というキーワードのもと、実施していくと思っています。

業績ハイライト

Kirayaka Bank

主要な経営指標

■連結

(単位：百万円)

	平成23年3月期	平成24年3月期
連結経常収益	26,428	25,881
連結経常利益	2,112	1,770
連結当期純利益	1,314	1,579
連結純資産額	50,750	52,375
連結総資産額	1,211,466	1,270,494
1株当たり純資産額	234.66円	246.93円
1株当たり当期純利益	7.46円	9.68円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	3.25円	4.14円
連結自己資本比率（国内基準）	9.35%	9.13%

■単体

(単位：百万円)

	平成23年3月期	平成24年3月期
経常収益	25,643	25,278
経常利益	1,964	1,636
当期純利益	1,170	1,536

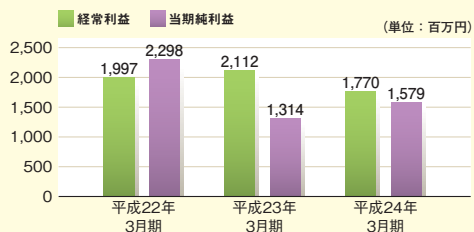
- (注) 1. 当行及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
 2. 「1株当たり純資産額」、「1株当たり純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり純利益」の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号）及び「1株当たり当期純利益に純関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号）を適用しております。
 3. 連結自己資本比率（国内基準）は銀行法第14条の2の規程に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。

営業の概況

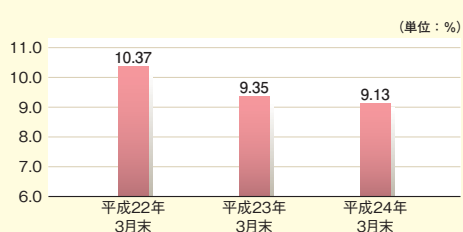
■収益の状況（連結）

連結経常収益は、貸出金利回りの低下による貸出金利息の減少等により、前年同期比5億47百万円減少の258億81百万円となりました。一方、連結経常費用は、預金金利の低下による預金利息の減少等により、前年同期比2億5百万円減少の241億10百万円となりました。その結果、連結経常利益は、前年同期比3億42百万円減少の17億70百万円となりました。また、連結当期純利益は、前年同期比2億65百万円増加の15億79百万円となりました。

経常利益・当期純利益の状況（連結）



自己資本比率の状況（連結）



用語解説

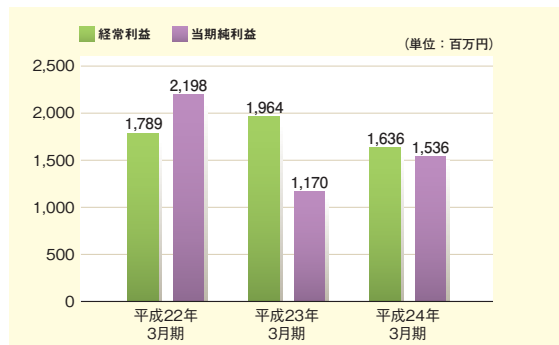
- **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益の事を指します。
- **経常利益** 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
- **当期純利益** 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。
- **自己資本比率** 総資本に占める自己資本の割合を指し、銀行経営の健全性や信頼度を示す指標のひとつです。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。※連結自己資本比率（国内基準）は、銀行法第14条の2の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。

業績ハイライト (単体)

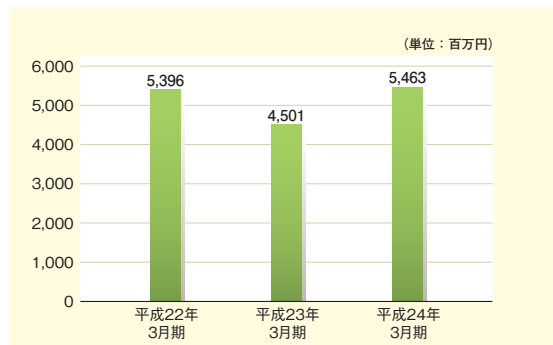
Kirayaka Bank

経常利益・当期純利益の状況 (単体)



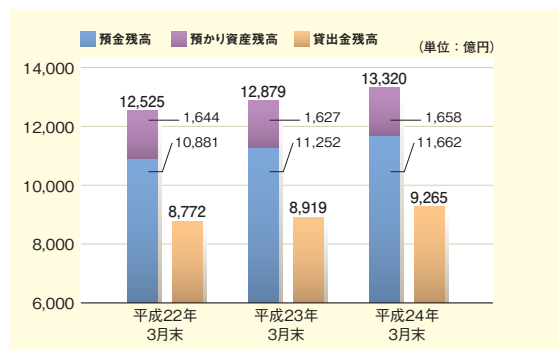
経常収益は252億78百万円、経常費用は236億42百万円となり、その結果、経常利益は16億36百万円となりました。当期純利益は、前年比3億66百万円増加の15億36百万円となりました。

コア業務純益の状況 (単体)



銀行の本業部分の収益を表すコア業務純益につきましては、前年比9億61百万円増の54億63百万円となりました。

預金＋預かり資産・貸出金の状況^{※1} (単体)

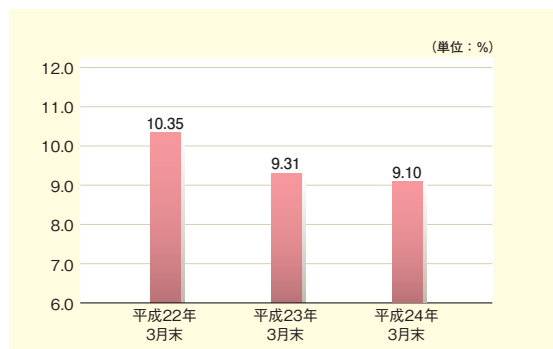


「本業支援」「最適提案」を実施し、個人定期預金、中小企業向け貸出を中心に預金残高、貸出金残高とも増加致しました。預金残高につきましては、「山形応援シリーズ」やインターネット支店専用定期預金等を中心とした企画定期預金の充実で前年比410億円増加の1兆1,662億円となりました。

貸出金残高につきましては「中小企業向け貸出」等が増加したことから、前年比346億円増加の9,265億円となりました。

※1. 譲渡性預金は含んでおりません。

自己資本比率の状況 (単体)



平成24年3月末における単体自己資本比率は、前年比0.21%低下の9.10%となりました。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。※預金には譲渡性預金を含みません。※単位自己資本比率(国内基準)は、銀行法14条の2の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。※決算の詳細につきましては、きらやか銀行ホームページ (<http://www.kirayaka.co.jp/>) よりご覧いただけます。

不良債権の状況（単体）

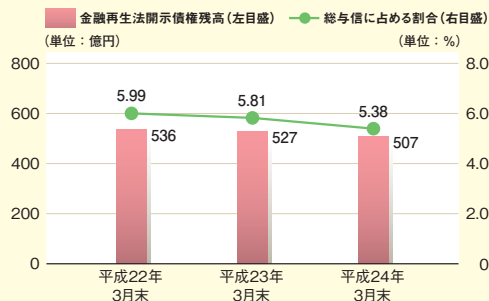
Kirayaka Bank

金融再生法開示債権

平成24年3月末の金融再生法に基づく開示債権は、前年同期比20億8百万円減少の507億34百万円、同不良債権比率は0.43ポイント低下の5.38%となりました。

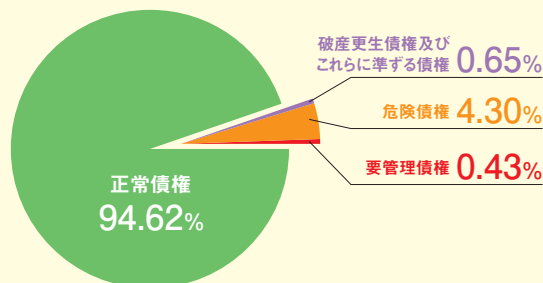
今後も引き続き、お取引企業に対する財務内容改善等ノウハウの提供に係る経営支援、経営指導をこれまで以上に強化し、資産の健全化に努めてまいります。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



総与信に占める割合

(平成24年3月末)



保全状況

(単位：億円)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	61	61	36	24	100.00%
危険債権	405	307	203	104	76.02%
要管理債権	40	9	4	4	22.39%
合計	507	378	245	133	74.60%

用語解説

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
- 危険債権 | 債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。
- 要管理債権 | 3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。ただし、構成比については端数を調整して表示しているものを含んでおります。

本業支援＝感謝・信頼・喜びの3本柱

本業支援を通じお客さまとのフェイス・ツー・フェイスの関係を改めて見直し、懷に飛びこみ何を望んでいるのかを確認し真の意味で信頼感を得ることを大事にしています。そして、信頼感を得ていく前提として自分自身が、その会社を好きになる・その代表者を好きになる・その従業員を好きになることが出来る様に心掛け、日々の渉外活動に取り組んでおります。

本業支援の3本柱が成立していくようにお客さまの真の悩みについて真剣に考え、愚直に行動し感謝、信頼される銀行員を目指していきます。

一緒にお手伝い
させてください。



プロフィール

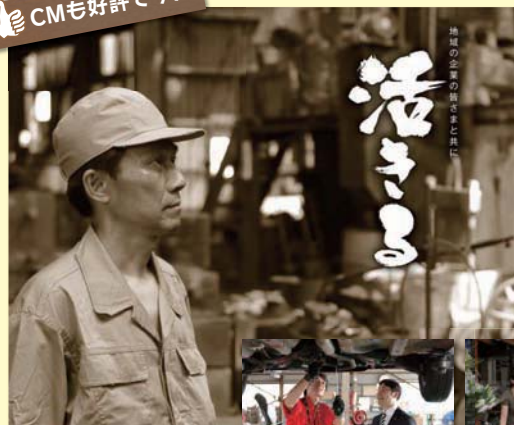
きらやか銀行天童支店
備前 司

法人渉外課長

きらやか銀行誕生以来 優績行員連
続受賞(内優勝・準優勝5回)

- 仕事に対して
段取り8割・行動2割で決めたことは徹底する
- ストレス発散方法
春から秋にかけては、自宅の畑作業
(野菜の成長を眺める)
- 子供達のスポ少(バスケット)で
熱血指導すること。

CMも好評です!



楽な道でないことは
わかっていた
何度もあきらめかけた
けれど
ゆずれない想いがあった
想いは、伝えることで
また、強くなっていく
あなたの想いを
一緒に語り合いたい
一緒に形にしたい
これからも私たちの願いは、
地域の企業のお客さまと
「共に生きる」こと。



ポイントサービスでもっとお得に、もっと便利に！あなたの暮らしを応援します。

お客さまが銀行に対し気にされていることの多くは、ATM時間外手数料がかかってしまうことではないでしょうか？今回は当行ATM時間外手数料が無料になる方法として、さらやか銀行ポイントサービスをご紹介します。

例えば、給与振込(40P)+UCクレジットカード(20P)*+ネットバンキング(15P)=75Pでステージ2となり、平日のみ無料となります。さらに、当行株主+配当金振込口座も当行指定の方は(30P)=105Pで、最高のステージ3となり、全ての日が無料となります。

上記契約の一体型UCクレジットカード*は携帯料金等をカード支払いにすると年会費がかかりません。またネットバンキングも年会費がかかりませんので、費用をかけずにポイントアップすることができます。

ぜひ、上手にポイントを貯めて、有効活用していただければと思います。

補足になりますが、住宅関連ローンは75Pとステージ3の一番お得なポイントであり大変お得です。ちょうどこの低金利時代に住宅ローン借換えを検討されてはいかがですか？

*当行所定のクレジットカード



プロフィール

さらやか銀行上山支店
森谷 成佳

入社13年目の法人兼個人渉外代理。情報発信地として、「一旦は森谷に聞いてみよう!」と思われる存在を目指し頑張っています。

趣味は多趣味(サックス、テニス、スキー、マラソン、ソフトボール)特にスキーは妻・娘と一緒に楽しめます。



👉 オススメのサービス

サービス一覧 ステージが進むほど、お得でうれしいサービスいろいろ！

	お申し込み	お借り入れ	手数料	テレホンバンク
	定期預金	マイカーローン 専らローン ウェディングローン	銀行ATM時間外手数料 (定期預金・専らローン・ウェディングローン)	金利優待
ステージ1 50ポイント以上	ATM定期預金 金利上乗せ (1.0%上乗せ)	返済利率優待あり 40.3%引き	—	無料
ステージ2 75ポイント以上	ATM定期預金 金利上乗せ (1.5%上乗せ)	返済利率優待あり 40.4%引き	50% 割引	無料
ステージ3 100ポイント以上	ATM定期預金 金利上乗せ (2.0%上乗せ)	返済利率優待あり 40.5%引き	50% 割引	無料

*1 ローン金利の引き下げは融資実行時のみの適用となります。キャンペーン金利は別途は適用されません。



■申し込み方法は？

当行とお取引いただいているお客さまは、自動加入となりますので、お申込みの必要はございません。

■ポイントの確認方法は？

ATMでキャッシュカードによる「残高照会」等を行った際の「ご利用明細票」にポイントが表示されております。

◀店頭パンフレットをご用意しています。

地域の皆さまと共に

Kirayaka Bank

「地域の復興に向けて」

■復興支援市開催

当行は、平成24年4月28日、山形市七日町で仙台銀行との合同企画第1弾「みやぎ復興感謝祭 海の市 in 山形」を開催しました。本イベントは、経営統合を前に震災復興応援に向けた仙台銀行との共同企画であり、東日本大震災からの復興支援及び山形市中心市街地の活性化に貢献することを目的として開催されました。



「地域のスポーツ振興」

■モンテディオ山形への寄付金の贈呈

当行は、平成23年4月より取扱いいたしました「モンテディオ山形応援定期預金」において、預入残高の0.01%相当額をモンテディオ山形へクラブ強化費として寄贈いたしました。当行はオフィシャルスポンサーとして、今後もモンテディオ山形を応援してまいります。



「地域の利便性向上」

■山形を便利につなぐ!山形県内4信用金庫とのATM業務提携サービス開始

当行は、平成24年3月より、山形県内4信用金庫とATM手数料を相互に無料とする業務提携を締結しました。サービス名称の「ジョサネット」とは、山形弁の『じょさね』（簡単）とネットワーク（つながり）を組み合わせたもので、地域の皆さまの利便性向上を図ります。



株主の皆さまへ

Kirayaka Bank

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 【公告掲載ホームページアドレス】 http://www.kirayaka.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞および山形新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等）		みずほインベスターズ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 （みずほインベスターズ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほインベスターズ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

お問合せ先

みずほ信託銀行 株式会社

 0120-288-324

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成25年の確定申告の添付資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成25年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。



きらやか銀行

基本理念

私たち「きらやかフィナンシャルグループ」は、地域に根ざす総合金融グループとして、“お客様ベスト”に挑戦し、共に煌やかな未来を創造してまいります。

平成19年5月7日、きらやか銀行がスタートし、今年5周年を迎えました。

これもひとえに株主の皆さま・お取引先の皆さまのご支援・お引き立ての賜物と、深く感謝申し上げます。

これからも当行は地域に根ざす金融機関として、「共に生きる」をスローガンに本業支援・最適提案を行い、心の通うベストコンサルティングバンクの実現に向け努力してまいります。

プロフィール (平成24年3月31日現在)

本店所在地 山形県山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号 023-631-0001(代表)
設立年月日 平成19年5月7日
資本金 177億円
預金残高 11,662億円(譲渡性預金を除く)

貸出金 9,265億円
従業員数 932名
店舗数 117カ店(県内99カ店、県外18カ店)^(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実店舗数は80カ店(県内63カ店、県外17カ店)、インターネット支店を除く。
ホームページ <http://www.kirayaka.co.jp/>

『お客様の声』受付ダイヤル

(受付時間) 平日9:00~17:00



0120-379-305



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。